

あおば

発行: おぐに荘保護者会

新潟県長岡市小国町新町 852-4

救護施設 おぐに荘

TEL 0258-95-3400

FAX 0258-95-3451

ホームページ <https://www.kashikari-fukushi.com>

【最終号】



ありがとう おぐに荘!

SAFETYNET

保護者会より

おぐに荘閉所におむけて



保護者会 会長
中村 優

小国の山々も日を追うごとに緑が濃くなつて来ました。

今冬は、暖冬小雪で春の訪れが例年より早く感じられました。しかし、寒暖の差も激しくて体調を崩したり、コロナウイルスやインフルエンザ等の感染症が流行したりしました。

おぐに荘の職員の皆様も感染症対策で大変だったと思います。未だに予防に努めなくてはならない毎日です。

今後は感染症とも付き合つて行かなければならないと思いますので、各自が免疫を下げない様につけたいと思います。

おぐに荘が昭和五十六年六月開所されてから、四十三年の歳月が経ちました。

自然に囲まれた環境、そして地域の住民の皆様と触れ合いながら生活出来る、利用者の皆様はとても恵まれていたと思います。

その上職員の皆様が毎年色々な行事を計画してくださり、利用者の皆様は様々な体験をして数え切れない程の楽しい思

いをしたと思います。

春祭り、誕生会、花見、旅行、盆踊り、運動会、ふれあいまつり、忘年会、クリスマス会、新春おたのしみ会、豆まきなどの思い出が沢山あることでしょう。

長年地元で親しんだ施設が無くなり、柏崎市にあるかしわ荘に移転してしまうのは寂しいことです。けれどもおぐに荘の殆どの利用者の皆様が同じ施設に入所されるという安堵しております。

最後に職員の皆様、保護者会の皆様、地域の住民の皆様、長い間おぐに荘を支えてくださり有難うございました。

かしわ荘に移転後も引き続き宜しくお願い致します。



理事長挨拶

心が通じ合える 福祉施設を目指して



社会福祉法人
柏崎刈羽福祉事業協会
理事長
政金 克芳

社会福祉法人柏崎刈羽福祉事業協会理事長の政金です。

おぐに荘保護者会及び関係者の皆様には、日頃からおぐに荘の運営に多大なる御支援、御協力をいただき、厚く御礼申し上げます。

新型コロナウイルス感染症の感染症法上の分類が五類に引き下げられましたが、残念ながら、収束まではまだ時間がかかるようです。おぐに荘をはじめ、当法人の各施設において、行事や面会などに一定の制限をかけさせていただいておりますこと、御承知おきをお願いいたします。

すでにご説明をさせていただいておりますとおり、当法人が運営している救護施設おぐに荘とかしわ荘については、今年度中に統合させていただく予定です。

これは、おぐに荘における施設の老朽化や利用者の激減によるものであります。利用者や保護者の皆様には御心配をおかけしますが、かしわ荘で安心して生活していただけるよう、両施設

長をはじめ、職員全員がしっかりと支援してまいりますので、御理解いただきますようお願いいたします。

さて、現在、日本では積極的にデジタル機器を活用し、社会を変容させようとする「デジタルトランスフォーメーション」という動きが推進されており、それは福祉事業でも例外ではありません。

当法人でも、見守りセンサーや介護記録のデジタル化などを順次導入し、安心安全な介護の提供と職員の負担軽減などに取り組んでいます。

一方で、これらのデジタル機器はあくまでツールであり、人に代わって全てができるわけではありません。例えば、職員がご利用者の手を握る時に感じる温かみで心が通じ合うことや、職員が常に寄り添うからこそ気付く小さな変化などは、やはり人の心と心が触れ合う中で感じるものだと思います。

当法人の全ての施設において、御利用者と共に心を通わせ、思いやりの心を含めた温かみのある福祉サービスを心掛けてまいりますので、引き続き、御指導、御理解、御協力をお願いいたします。

末筆となりますが、おぐに荘保護者会の皆様の御健勝を御祈念申し上げます、御挨拶とさせていただきます。

園長挨拶

おぐに荘閉鎖にあたって

園長
遠藤 和哉

保護者の皆様、地域の皆様、関係機関の皆様には、日頃よりおぐに荘の運営にご理解、ご協力いただき、感謝申し上げます。

さて、昨年度から皆様にお伝えしております通り、「救護施設おぐに荘」は、令和六年夏を持ちまして、同法人の救護施設かしわ荘と統合して、施設を閉鎖することになりました。おぐに荘の利用者は、原則として、かしわ荘に移ることになります。

現在の統合に関する取り組みとしては、統合計画に基づいて、両施設で統合に関する各種会議等を通じて、課題を整理、解決しながら、進めているところです。

特に、今回の統合に関しましては、利用者の皆様の環境変化と不安についての対応・支援が重要であるとの認識のもと、両施設間での情報共有、連携を図りながら取り組んでいます。

保護者の皆様には、定期総会後に、かしわ荘の職員から施設紹介をしてもらいました。

また、六月二十六日には、かしわ荘の見学会を行いました。なお、当日参加できない方につきましても、随時見学をすることが可能となっております。

利用者の皆様には、かしわ荘職員による説明会や、希望者への施設見学会等を通じて、かしわ荘を知ってもらう取り組みを行っています。また、統合に関する準備についても、担当職員と協力しながら進めています。

地域の皆様や関係機関の方からは、今回の件をお知らせする中で、施設の思い出や励ましの言葉をかけていただきました。感謝するとともに、大変勇気づけられました。

おぐに荘の閉鎖にあたり、四十三年の歴史の中で、常に多くの皆様から関わり支えていただいたことについて、改めて感謝申し上げます。最後に、今まで本当にありがとうございました。

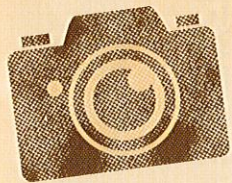


令和5年度

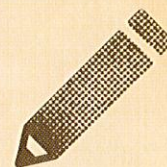
保護者会活動内容



- 保護者会理事会
- 保護者会総会・花見会
(総会は実施。花見会は実施見合わせ)
- 保護者会協力活動(実施見合わせ)
- ふれあいまつり(実施見合わせ)
- 保護者会臨時理事会
- 保護者会臨時総会
- 会計監査(令和6年4月6日実施)



おぐに荘43年の 思い出

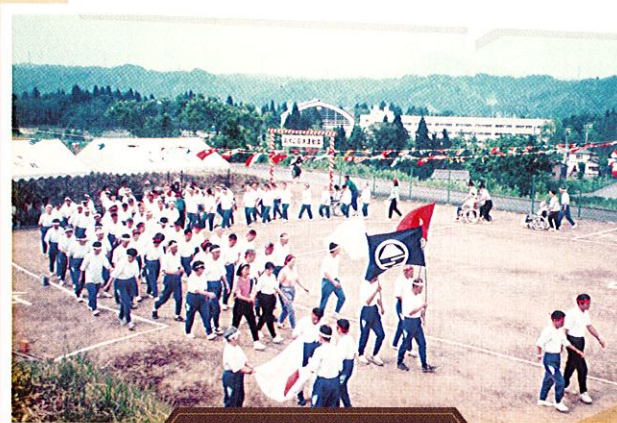


法被を着てお神輿を引っ張ったり、
小国首頭を踊ったり、餅拾いをしました。



新町春祭り

グラウンドで、綱引き、デカパンレース、
玉入れ、パン食い競争など、色々な競技をしました。



運動会

色々な野菜を
育てて収穫しました。



収穫祭

炎に無病息災の願いをこめ、
するめを焼いて頂きました。



賽の神

新しく、
ピカピカだった思い出。



おぐに荘創立記念日

アトラクションを楽しんだり、
ミッキーマウスやミニーマウスに
会えて楽しかったです。



創立10周年記念 ディズニーランド旅行



満開の八重桜をバックに、
写真を撮りました。



創立20周年記念

小国会館で、盛大に
式典を行いました。



創立30周年記念



ブリの解体ショーを観ました。



創立40周年記念式典

他にも、夏祭り、マラソン大会、
原田英昌ショー、クリスマス会、餅つきなど、
様々な出来事や行事がありました。



おぐに荘では季節ごとに毎月行事が行われ、家族や地域の方々とも
触れ合う機会があり、色々な体験や行事に参加させていただき、
43年間楽しい思い出がたくさんできました。

これまでの保護者会



盛大に開催できました。

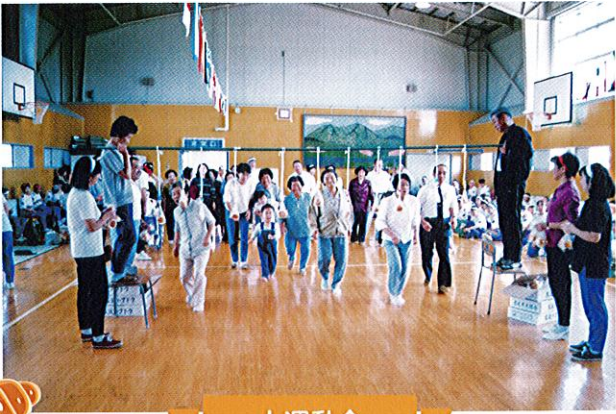


たくさんのご意見を
頂きました。



総会

本当にありがとうございました。



大運動会

パン食い競争で盛り上がりました。



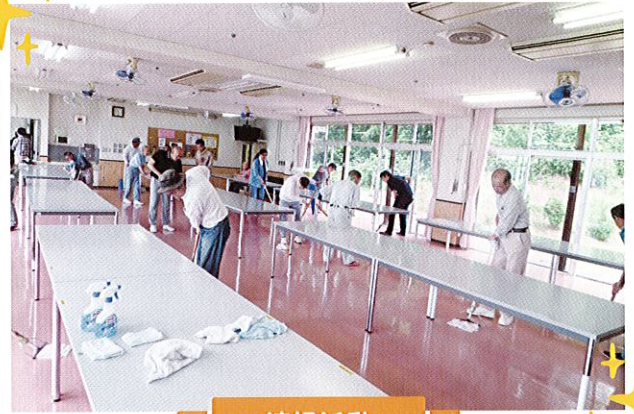
ふれあいまつり

屋台の食事は美味しかったです。



花壇の草取り

きれいに草を取っていただきました。



清掃活動

きれいな食堂にさせていただきました。



花見会

満開の桜の下での会食は美味しかったです。



クリスマス会

素敵な踊りのステージ発表。

おぐに荘を支えていただき、



櫻 久 羽
井 保 田
順 光
子 枝 哲
様 様 様

寄贈者一覧

億 入 小 小
節 沢 国 国
子 和 中 理
様 文 学 容
様 校 校 組
様 様 様 合
様 様 様 様

ボランティア

皆様の善意に
感謝します
順不同

社会福祉法人 柏崎刈羽福祉事業協会



経営理念 私たちは、地域の福祉事業の主たる担い手として、利用者の尊厳を守り、万全の福祉サービスを提供するとともに健全経営に努めます。

- 基本方針
- ① 入所者・利用者の人格と尊厳を守り、安心・安全な生活と良質なサービスの提供に努めます。
 - ② 透明性を確保し、健全経営に努めます。
 - ③ 福祉人材を育成し、働きやすく魅力ある職場づくりに努めます。
 - ④ 福祉のセーフティネットとしての役割を果たし、社会的弱者の支援に努めます。
 - ⑤ 福祉文化の創造を目指して地域・社会に貢献します。



職員動向

転出職員

- ・植木 隆広 (介護係長)

退職職員

- ・田中 麻美 (パート介護員)

編集後記

皆様から温かく見守られ、色々とお手伝いいただいた「おぐに荘」が8月をもって43年間の歴史に幕を閉じることになりました。

イベントへのご協力、ボランティア活動など皆様のご協力なくして43年間もの運営はできなかつたと思っております。職員一同感謝申し上げます。

あおばの発行も今回で最終号とさせていただきます。長い間本当にありがとうございました。



苦情相談について

救護施設おぐに荘では、提供する福祉サービスについて、随時苦情相談を受け付けています。

ご意見、ご要望、苦情等がありましたら、遠慮なく苦情受付担当者、第三者委員にご相談下さい。

誠意を持って話し合いを行い、解決、改善に努めます。

- 苦情解決担当者 遠藤 和哉 (おぐに荘 園長)
- 苦情受付担当者 松井 夏子 (おぐに荘 次長)
- 第三者委員
小野塚正之 電話 0257-24-0469
宮田知津子 電話 0257-24-5522
砂塚 一美 電話 0257-27-3159

- 苦情相談の申し出
苦情担当者、第三者委員に直接お話し下さい。
また、電話、書面、面談でも受け付けます。
電話 0258-95-3400

苦情受付窓口は、おぐに荘事務室に設置しています。苦情の受付に際し、プライバシーについては、十分に配慮致します。